

# 名古屋文化短期大学同窓会 同窓会会報

## 第27号

## NFCC

発行日 / 2012年7月21日  
 発行所 / 名古屋文化短期大学同窓会  
 〒461-8610 名古屋市東区葵一丁目17-8  
 TEL (052) 931-7112 FAX (052) 931-7117  
 URL <http://nfcc-nagoya.com>  
 編集 / 会報委員 石原和子・小笠原絢子・河上ちさえ



同窓会設立55周年記念総会記念講演「いつまでも女性として美しくいるために」 講師：原志保氏

### CONTENTS

会長・名誉会長あいさつ	……P.1
山田久子先生を偲んで	……P.2
母校だより	……P.3
同窓会設立55周年の報告	……P.4・5
総会報告	……P.5
こんな活動をしました	……P.6・7
名簿の会からお知らせ・訃報	……P.7
2012年同窓会行事ご案内	……P.8

### 同窓会は“今”

同窓会会長

旗 美代子

学校法人山田学園前理事長・名古屋文化短期大学名誉教授山田久子先生のご逝去の知らせを2011年9月13日に受け、同窓会役員一同は通夜、学園葬に参列いたしました。初七日、四十九日にも一部役員が参列し、ご冥福をお祈りいたしました。葬儀は新聞報道で訃報を知り、遠方からも先生方や卒業生が多数参列され、たくさんの美しいお花とで、とても盛大でした。先生は故名誉理事長山田新平先生と母校現名古屋文化短期大学を創設されて以来、多くの卒業生は生活に関わる知識、技術をご指導いただきました。同窓会も色々とお世話になり、今日があります。ここで皆様と共に重ねて心よりご冥福をお祈り申し上げ、母校と同窓会の発展に努力しますことをお誓いいたします。



同窓会は2011年に設立55周年を迎え、反省や今後について協議を重ねました。その中で現在の問題点として、高齢化社会の影響で50代から70代が、80代から90代の親族を介護したり、経済不況から仕事で多忙など以前のように同窓会活動がスムーズに進められなくなってきました。

多数の意見で運営するには常任幹事の増員が必要となり、会則変更の承認を得ました。次期新役員を選出とともに参与・常任幹事の増加を得て本会の更なる発展に努めます。皆様が同窓会行事に多数ご参加くださることを願っています。

来年2013年は学校法人山田学園が創立80周年を迎えられます。同窓会は現役員会を準備会として、行事の原案を作成し、9月の常任幹事会に提案します。総会で新役員承認後、新役員会を創立80周年実行委員会として、事業計画を決定し、会報28号で祝賀行事についてお知らせいたします。全会員でお祝いしたいと楽しみにしています。

会員の皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします。

### 学園創立80周年に寄せて 一気持ち新たに

理事長・学長・同窓会名誉会長

山田 健市

1993年に、学校法人山田学園は、創立60周年を迎えました。以来、20年の時が経とうとしつつあります。還暦から、傘寿へと進んでまいりました。めでたいことであります。また、ありがたいことであります。



今は亡き山田新平・山田久子夫妻が「山田和服裁縫所」を名古屋市中区流川町に開設したのが、1933年（昭和8年）9月のことでした。以来、歩み続けて80年になろうとしています。

一方、1950年に、山田家政短期大学として出発して、名古屋文化短期大学に至っている短期大学の同窓会は、2011年に設立55周年を迎えたところです。

一人の人間としてならば、感無量という思いに浸ったりするところでしょう。しかしながら、学園や、同窓会といったしましては、まだまだ道半ば、あるいは、歩き出したばかりと言えるかも知れません。60年や80年に満足せず、来し方を振り返り、これまでの積み重ねを糧にしつつも、行く末を見据え、次なるステージを目指したいと、念じております。

北極では、氷の上での行動範囲が狭まり、海を泳いで、クマがえさを探しているとのことです。地球規模での大きな変動期の最中に、我々もいます。

こういう時期こそ、力が試されるときであり、持てる力を発揮できるときであります。

80周年は、これから続く節目の一つと心得、過去を踏まえつつ、未来に挑んでゆく所存であります。

今後とも、ご支援のほど、お願い申し上げます。

# 山田久子先生を偲んで

名誉教授

## 山田久子先生ご逝去



### 山田久子先生の主な経歴と功績

- |          |                                |            |   |
|----------|--------------------------------|------------|---|
| 1933年 9月 | 山田和服裁縫所開設                      | 1972年 4月   | 学校法人山田学園理事長<br>(1985年3月迄)                 |
| 1936年 4月 | 亨栄洋裁学院夜間部講師                    | 1983年11月   | 山田家政短期大学教授                                |
| 1937年12月 | 私立山田女子青年学校指導員                  | 1985年 4月   | 山田家政短期大学客員教授<br>(1987年校名変更 名古屋女子文化短期大学)   |
| 1940年10月 | 私立山田和洋裁女子青年学校助教諭               | 2002年 4月   | 名古屋女子文化短期大学名誉教授<br>(2004年度校名変更 名古屋文化短期大学) |
| 1945年10月 | 私立家政女学校校長兼教諭                   | 1979年 3月   | 全国専修学校各種学校総連合会会長表彰<br>(専修学校教育功労)          |
| 1948年 4月 | ナゴヤドレスメーカースクール開設               | 1980年 5月   | 文部大臣表彰 (短期大学教育功労)                         |
| 1948年 7月 | 財団法人山田女子学園理事                   | 1982年10月   | 愛知県知事賞 (服飾教育功労)                           |
| 1950年 4月 | 山田家政短期大学助教授                    | 1983年10月   | 厚生大臣表彰 (栄養士養成功労)                          |
| 1951年 4月 | 学校法人山田女子学園理事                   | 1987年11月   | 勲三等瑞宝章                                    |
| 1951年 9月 | 学校法人山田学園理事<br>(2008年3月迄)       | 2011年9月13日 | 没 享年98歳                                   |
| 1971年 4月 | ナゴヤドレスメーカースクール校長<br>(1997年3月迄) |            |   |
| 1976年度   | 校名変更 名古屋服飾専門学校)                |            |   |
| 1972年 3月 | 学校法人山田学園評議員                    |            |   |

## 弔 辞

同窓会会長 篠美代子

謹んで今はなき学校法人山田学園前理事長名古屋文化短期大学名誉教授山田久子先生のご霊前に告別の辞をささげます。

つい3、4日前に虫の音を耳にしながら過ごしよい季節になったので久子先生の所に、同窓会役員何人かで伺いたいと思っていました。しかし13日突然の訃報に接し身の震える思いでお知らせを受けました。

今思えば先生の羽の下で温もりを感じ甘えた気持ちでいて、これからも、まだまだ色々教えて頂ける様な思いで、お慕いしていました。

同窓会は今年も例年の様に会報を発行いたしました。8月、9月に何人かの卒業生から「会報が届きました。久子先生は、お元気ですか。」とのお尋ねがありました。先生には、皆さんの思いをお届けできませんでした。残念です。多くの卒業生が久子先生をお慕いしています。全卒業生には会報27号で先生のご逝去をお知らせします。そして、同窓会会員一同で先生のご冥福をお祈りいたします。

久子先生は名誉理事長故山田新平先生と共に日本に短期大学制度が出来ると同時に母校を創設してくださいました。

お陰で私たち卒業生は生活に必要な専門知識や技術を身につけ社会にでま

した。

卒業生の1期生は傘寿を、4期生が喜寿を、21期生は還暦を迎えましたが、多くの方が向上心を持ち、生き甲斐を感じて過ごされています。うれしいことです。ここに卒業生の皆さんに代わり母校を創設くださいました事と、温かいご指導をさせていただいた事に心より感謝申し上げます。

昨年母校は開学60周年を迎えられました。同窓会は記念に開学以来の教育職員と、卒業生、在学生の名簿を発行いたしました。最初の頁に歴代理事長、歴代学長のお写真をかかげました。前理事長山田久子先生は、勲三等瑞宝章を胸に正装された高貴なお美しいお姿で、私たちを見守ってくださいます。多くの卒業生の心の中にも久子先生の美しいお姿があると思います。

先生は日頃、結城紬や大島紬をよくお召しになりました。先生の和装のお姿は特別でした。着物と帯、帯と小物の調和は、えも言われぬ上品でお洒落で着心がよさそうで、行動しやすそうな着装がとてもお美しく、お目にかかれるだけで自然に勉強させていた



美しいお花に囲まれた祭壇

だけました。

最近では少子高齢化で18歳人口が減少していますが、山田学園は山田健市先生のご指導のもと新しい社会のニーズに答えられ、私学教育の自主性を大いに発揮され今年も益々輝いておられます。幸いに同窓会は会員が増加し、今年では設立55周年を迎えました。今後は学長先生始め諸先生にご指導を頂きご相談して、卒業生相互の親睦と向上をはかり母校の発展に寄与するように努めてまいります。同窓会は末永く、先生からの教えを大切に、感謝して参ります。

最後に、お花のお好きなお美しい久子先生に手を合わせ、心からご冥福をお祈りいたします。どうぞ、山田学園を天上からお守りくださいますよう祈念申し上げます。

## 久子先生を偲ぶ

参与 小川豊子 (2期)

2011年9月13日にあまりにも突然な訃報を受けて、びっくりいたしました。驚くと同時に悲しみと色々の思いが募ってきました。和裁をご指導されているお姿や、やさしいお姿が今でも忘れられません。故人との想い出深い1年生の北海道旅行、2年生の九州の修学旅行の楽しかったことが、今でも脳に焼き付いています。多くの学生から「久子先生、久子先生」と慕われていらっしゃいました。女性の代表格として幅広く活躍された久子先生の功績は大きく、永遠に私たちの中に生き続けることと思います。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。

在校生の活動

ファッションデザインコースの学生達は今

ファッションデザインコース主任・教授 鈴木 妃美子

本学のファッションデザインコースに入学する学生達の多くはモノ作りに興味を持ち、自分のデザインした洋服を作れるようになりたい、「個性を生かした服作りがしたいという「夢」を持っています。これはとても大切なキーワードで、夢を実現させるために短大の2年間でどれだけの知識と技術を習得し感性を養う事ができるかということです。そこで2012年3月に卒業した若杉美沙さんの2年間の活躍を紹介したいと思います。



NDK入賞 嶋原 桃子(11D)

彼女は1年次に挑戦したNDC中部フレッシュコンテストで優秀賞、販売士検定3級合格、2年次では第26回JFSシルバー賞、(学)東洋学園第3回ゆかたデザインコンテスト最優秀賞などを受賞しました。また短大2年間では合格が難しいといわれるパターンメイキング技術検定2級にも合格しました。このように好きなことにこつこつと取り組む真面目な姿勢と輝かしい成績を評価され卒業式ではブルーリボン学長賞もいただきました。

今年も学生たちは、夢に向かって頑張っています。7月に開催される「NDKフレッシュコンテスト」デザイン画部門では応募作品208点の中から10点の入賞が確定し、その中の4名が本コースの学生です。また8月25日に開催されるNFコレのJFS作品製作では、デザインの発想から縫製まで、若い感性の煌きと次世代への発信を目標に「夢」に向かって頑張っているところです。多くの卒業生の皆様にもご覧いただけたら幸いに存じます。

ネイルアート検定1級に合格されて

1級合格の快挙!

メイクアップ・ネイルアートコース講師 西銘 亮

2012年3月にネイルアートコースを卒業された市川美紗季さんは、在学中にネイリスト技能検定1級を合格されました。トップレベルのネイリストとして必要とされる、総合的な技術と知識が問われる検定試験であり、現場で働いているプロでも落ちることがある難関試験です。1年に2回開催(3~1級)されるもので、1度でも落ちてしまうと在学中に1級に挑戦することさえできません。

市川さんは入学当初よりおとなしい印象を持っておりましたが、内に強い意志を秘めたたいへんな努力家でした。授業に取り組む姿勢は真剣で、クラスメイトへの心遣いもしっかりとしていました。そのため周りから一番の信頼を集め、卒業時にはブルーリボン学長賞も受賞することができました。1級検定前は仲間と居残りで練習しながら、毎日のように涙を流していた姿が印象深く残っております。

卒業後には名古屋のネイルサロンに就職が決定し、現在お客様に愛される、すばらしいネイリストになることを目標に、新たなスタートを切ったばかりです。在学時の気持ちを大切に、これからも努力を重ねてほしいと思います。



市川 美紗季さん

ダンス・バレエ・ミュージカルコース/総合美学コース(パフォーマンスクラス)合同卒業公演を終えて

ダンス・バレエ・ミュージカルコース主任・教授 大島 博人

2012年1月14日に、ダンス・バレエ・ミュージカルコース、総合美学コース(パフォーマンスクラス)合同の卒業公演を開催しました。

開催につきましては、同窓会の温かいご支援のおかげをもちまして、名古屋市の「中区役所ホール」という素敵な会場を使用できました。ありがとうございました。また、保護者及び同窓会の方々、学園関係者、そして一般市民の方々にも、多数、お越しいただき、感謝の気持ちで一杯です。

学生は、それぞれの夢を持って本学の門を叩き、2年間の集大成として、それぞれの想いに沿った作品で、精一杯の舞台を作り上げました。一つ一つの作品には、そこにたどり着くまでのストーリーが映し出されて、感慨深いものでした。

まだまだ未熟な部分の目立つ所もありましたが、大きな可能性を秘め、そして何より真剣に向き合う姿勢がありました。この舞台を目の当たりにして、ますます学生の「なりたい自分」をバックアップしていきたいと思いを新たにしました。

次回は、2013年1月27日(日)に、名古屋市の「アートピアホール」での開催が決定しています。更なる感動を与える舞台作りに向け、日々精進して参る所存であります。引き続き、ご支援の程、お願い申し上げます。

中区役所ホールにて▶



卒業生の就職状況について

就職進路課長 堀井 厚

厚労省・文科省が共同で行う新卒者就職状況調査の昨年度集計がこの程公表されました。その状況は一昨年と比べ僅かながら改善されたものの依然厳しい状況が続いています。

本学の昨年度就職率は、全国平均を上回わり、追跡調査が終了する5月末現在で前年度実績を超えました。昨年度の特徴として、採用難関企業や第一志望企業への就職者が増加したことがあげられます。多様化が進む現代社会では、画一的で平均的な人材採用から専門的な得意分野を身につけた早期戦力となる人材使用へと変化しています。社会ニーズを的確に捉え、専門性を追求した教育カリキュラムが功を奏したと分析しています。

生活文化専攻の多くの学生は、前年からの活動を強いられました。学業と両立しました。合格率3%の難関美容企業に合格した学生や、50倍以上の競争率を突破した学生がいます。ファッションビジネス専攻では、有名一流ファッションブランド企業への就職者数が前年度より大幅に増え、販売部門・管理部門などの幅広い部署に就きました。食生活専攻は、他の専攻に比べ活動初期は遅いにも拘わらず、早期にほぼ全員が内定を獲得しました。学生達の頑張りに敬意を表します。

卒業生・在学生の直系2親等内の入学者に特典

◆入学半額免除 280,000円→140,000円 ※ 但し、特待生AO入学および特待生推薦の場合は除く。



卒業生・在学生が表記以外の入学者を紹介した場合は、記念品をプレゼント!

# 同窓会設立55周年記念の報告

## 同窓会設立55周年を記念して

副会長 平野幸代（1期）・木村純子（9期）

設立55周年を記念して、会報26号に設立特集を掲載しました。

学監で校歌を作詞された故岡田稔先生のご指導により、当時から母校に在職していた会員が、会則と名簿を準備して同窓会が設立されました。そのいきさつ等同窓会の歴史を載せることができました。

同窓会は55周年を迎え、会員も1期から60期まで15,000人余となり、将来への更なる発展のために役員会、常任幹事会で幾度も検討を重ね、次の様に3項目を取り上げ55周年記念総会で発表し、会員の皆さまにご理解を頂きました。その後役員会において（1）会則変更の移り変わりを書記、（2）記録集作成を副会長、（3）会報への広告記載に関してを会計、それぞれを各担当者で実施することになりました。今後の同窓会発展に役立てるため各項目について資料を収集し、整理保管していきます。

総会后、記念講演で永遠に女性の夢である「いつまでも女性として美しくいるために」を原志保先生から、在校生や、高校生の皆さんも参加し、実践を伴った有意義なお話を聞くことができました。

引き続き午後の懇親会が催されました。テーブルの上には「式部庵」特製の二段重ね弁当が並べられ、和やかな雰囲気の中で会が進められました。余興の抽選会では、山田健市学長が撮影された額入り写真、ロイヤルコペンハーゲン製の額皿と同窓会から開学60周年に発行された同窓会会員名簿が賞品として渡され、当選者から喜ばれました。

この年9月に名誉教授山田久子先生ご逝去により、白白饅頭にし、他に同窓会名入りのボールペンとタオルを55周年記念品として参加者全員にお渡ししました。



設立 55 周年記念品 ▶ 名古屋文化短期大学 同窓会

## 会則変更の移り変わり

書記 小笠原淳子（15期）・横川洋子（18期）

山田家政短期大学同窓会会則が昭和32年に施行され、会員相互の親睦と向上をはかり母校の発展に寄与することを目的として以来、55年間に下記のように会則変更が行われてきました。

会則第1号で「会報と名簿を発行する」とうたわれていますが、昭和61年にやっと会報が創刊でき、名簿は現在までに9冊発行できました。各々良い方向へ進行しています。

しかし、現在は社会変化に伴い速く情報を公開できるようにホームページについて検討し、実施が必要と考えられています。

今まで発行された同窓会会員名簿、毎年3月に発行されている同窓会新入会員名簿、同窓会総会の冊子等の資料の中で会則が掲載されている書類をできるかぎり収集し、管理、保管します。

### 1957（昭和32）年 山田家政短期大学同窓会会則

5月12日 施行（6期生卒業の年）	在学生会は、本会の入会金納入者を準会員とする
総会 5月第二日曜日（母の日）	入会金7,000円（入学時）
会報 名簿の発行	支部を置くことができる（沖縄支部）
会長1名 副会長1名 書記2名	入会金 10,000円（入学時）
会計2名 幹事各クラス2名	入会金 13,000円（入学時）
（母校職員は常任幹事）	在学生会は本会の入会金納入者を準会員とし、卒業後は正会員
名誉会長は学長 顧問は理事長と学監	「名古屋文化短期大学同窓会」
入会金600円（入学時）	学名変更に伴い会名改称
会計年度	入会金 15,000円（入学時）
総会から次年の総会前日までとする	相談役を置く
会則変更の承認	（特別会員 正会員から）
総会出席者の3分の2以上とする	2006（平成18）年 参与3名 名簿会員3名 常任幹事35名以内を置く
1964（昭和39）年 名誉会長は学長 顧問は理事長	役員の仕事・選出・任期、運営組織の
1967（昭和42）年 入会金1,000円（入学時）	総会・常任幹事会・役員会
総会11月3日（文化の日）	個人情報保護の会・名簿の会・ホームページの会の見直し
1971（昭和46）年 入会金2,000円（入学時）	細則 内規の補足を定める
1976（昭和51）年 名簿は5年に1回発行	役員に欠員が生じた場合、後任者の任期の定め
副会長2名 監査2名を置く	2009（平成21）年 細則 個人情報保護の会の開示について
入会金3,000円	内規 委員会の任務、母校行事への係わりを明記
（入学時2,000円 卒業時1,000円）	
1983（昭和58）年 入会金5,000円	2011（平成23）年 参与若干名
（入学時3,000円 卒業時2,000円）	常任幹事45名以内を置く
1985（昭和60）年 会計年度 毎年9月1日から翌年の8月31日までとする	
会則変更の承認	
総会出席者の過半数とする	
1986（昭和61）年 会報創刊号 昭和61年10月1日発行	
1987（昭和62）年 「名古屋女子文化短期大学同窓会」	
学名変更に伴い会名改称	

## 同窓会記録集の作成

副会長 平野幸代（1期）・木村純子（9期）

55周年を迎えることができた現在は、1期からの先輩方も活躍されています。時代が流れ、次に続く後輩たちのために55年の歴史を伝える資料を残すことになりました。そのために個人で保管している大切な行事の記念写真、冊子などの資料を同窓会へ提供して下さるようお願いします。大切に保管していきます。提供して下さる方は、大切な行事の記念写真、冊子などの資料の裏側に氏名、卒業年度、写した時期、状況などを記入してください。なお資料は返却いたしませんので、ご了承ください。

■資料メ切：2013年2月末日 ■宛先：会報編集の会

## 会報への広告記載に関して

会計 石垣美恵子（15期）・阿部朝子（18期）

同窓会員の皆さん、ご自分の仕事や趣味などの宣伝をしませんか！会員の皆さんの発展されることを願って、会報に広告掲載することを企画しました。会報は、A4版8頁で年1回7月発送で1万部余発行され全国の同窓生に配布されております。広告掲載の紙面は2～7ページの最下段です。

■料金：30,000円（1コマ縦5cm×横8cm） ■申し込み先：名古屋文化短期大学同窓会 会報編集の会  
■申し込み方法：書面にて学籍番号、卒業年度を記入の上お申し込みください。後日詳細を連絡します。  
■申し込みメ切：毎年2月末日

## 2011年同窓会総会

### 総会報告

参与 牛田彰子（9期）

2011年10月22日（土）母校A館3階アセンブリホールにおいて、来賓の先生方のご出席をいただき同窓会総会が開催されました。

司会は牛田彰子（9期）が行い、会長篠美代子（5期）の挨拶で始まり、まず前理事長故山田久子先生のご冥福をお祈りして黙祷をいたしました。続いて理事長・学長の山田健市先生からお祝いのご挨拶をいただきました。

同窓会設立55周年を祝して実行委員長の木村純子（9期）より、会報26号設立特集と会報27号へ設立55周年で決定された内容を掲載することについての報告がありました。

続いて議長に河上ちさえ（21期）が選出されました。2010年度事業報告・決算報告・監査報告があり満場一致で承認されました。2011年度事業計画・会計予算の提案があり、この議案についても承認されました。

会則の変更については、会長から「参与は若干名」にする「常任幹事を45名以内」にする、の2項目について説明があり承認されました。



山田健市学長より祝辞をいただく

### 懇親会に出席して

林 範子（15期）

昨秋、母校同窓会の総会に出席した。母校に着き、久々に友と会い、会場に入り、まもなく総会が始まった。

その後懇親会に移った。

懐かしい面々が各々の席に着き食事に入った。私は友の中で青春時代に戻ったかの様に心が生き生きとし、昔話に大きな花が咲いた。ふと周りを見渡すと満面の笑みの先輩後輩たちがいて、いつまでも変わらない「同窓生」とは、やはりいいものだなとつくづく感じた。懐かしい話をしながらお互い笑い合っていた時、気付くといつの間にか年齢には適わない、体の不調さや孫の話などになってしまっていた。『ああ…「青春」という華やかな時代でも、さすがに年月の経過には勝てないものなんだな…』と思い、郷愁じみた微笑が自分の中に生まれた。今の世の中「アンチエイジング」など言われているが自分が今この年齢になり年を重ねていく事は決して悪くはない。むしろ心身共豊かに生きられたらと思っている。この先も心の青春は忘れず笑顔で周りの人達と助け合いながら「人生」という旅を自分らしく歩んで行きたい。



懇親会会場にて

### 親子で参加

会報委員 河上ちさえ（21期）

同窓会は、昨年設立55周年を迎えました。活動が開始されて数年間の総会・その後の懇親会では、若いお母さん方の会員がご自分の小さいお子さんを連れて参加される姿を見ることが多く、大変にぎやかだったということ先輩方から伺っていました。

しかし、最近では、そういった姿を見ることがありませんでした。会員の中には、傘寿や喜寿を迎えられた方が多くいらっしゃいます。遠方や市外からお一人で出かけることをいろいろな事情で躊躇されているのではないのでしょうか。

昨年の総会及び懇親会では、息子さんが同行されて参加いただいた会員の方がいました。大変微笑ましい光景であり、うれしいことでもあります。こうした親子の参加の仕方があることを知っていただき、更なる多くの会員の方々が総会や他の行事にも参加して下さればと願っています。



泉谷圭香さん（3期）ご子息と参加

## 2012年同窓会総会記念講演

講師 <整膚学園学長> 徐 堅氏

整膚とは 数千年の人類の歴史においては、皮膚を押す、皮膚を刺す、という療法が常識と思われてきました。しかし1992年、皮膚を「引っ張る」、皮膚を土ように耕すことにより、肌が瑞々しくなり、鎮痛効果などがあるとことを発見し、そして整膚は施す側も元気になるという特徴から、21世紀の新しい健康と美と癒しの学問として世界に注目されつつあります。

### 徐堅氏プロフィール

1992年 整膚のメカニズムを発見  
2006年 『整膚—2008年北京オリンピックへの貢献—日中スポーツ医学シンポジウム』主催  
2007年 中国オリンピックドクターや監督に整膚指導 世界陸上にて整膚を実践 野球、フィギュアスケート選手のケアに貢献  
2008年 映画『整膚』完成  
2010年 第一期医師専門整膚講座主催  
万博期間中、中国上海にて『整膚美容と癌の予防』世界大会を主催  
2011年 東日本大震災支援プロジェクト『整膚習得と就職』を全国の医師との協力によって発足  
2012年 整膚美肌褥溜予防世界大会、第三期医師専門整膚講座、第二期看護師専門整膚講座開講予定  
著書25種類 医療、看護、介護施設、柔整師会、鍼灸師会、教育機関等で講演会2000回以上

# こんな活動をしました

## 葵祭

2011年11月11日(金)～12日(土)

### 葵祭を終えて

葵祭委員長 浅井ヒサエ (22期)

同窓会設立55周年記念バザーに向けて、集めていただいたものや作っていただいたものを当日たくさん出品していただきました。陶器、衣料品、雑貨、バックなど多品目のものが集まり、会場いっぱい出品物で埋まりました。陶器、バックなど素人離れた作品がたくさんあり、会場が活気づき、お互いを買ったり、売ったりして、和気あいの時を過ごしました。

隣の会場では作品展が開かれ、みなさんの力作、書をはじめ絵画、はり絵、染物、手芸作品などが展示されました。

ミニ講習会では、連鶴の折り方、折り紙では、つま楊枝入れ、こまが折られ、出来上がると喜びの顔にかわってました。

また、バザーではたくさんの寄付をいただきまして、ありがとうございます。次回は、2012年は11月8日(木)が搬入です。たくさんのお品物をお願いいたします。みなさま是非ご来場ください。お待ちしております。

### 作品展に出品して

横井叡子 (15期)

このたび、私は葵祭作品展に、木目込み人形を出させていただきました。私と木目込み人形との出会いは、娘のおひな様を娘と共にお嫁に出し、手元にはおひな様がなくなってしまいました。ところが、三年ぐらい前でしてでしょうか、素晴らしい木目込みの先生に出会い教わるようになりました。出来上がるまでに、一つ一つの作業に手間もかかり、1作品に3ヵ月ぐらいかかります。ですから、出来上がったおひな様は、愛着もひとしおでございます。皆様にご覧いただけて、大変うれしく、感謝しております。その他、ろうけつ染め、陶芸、皮細工、毛筆の作品も見せていただきました。また、後輩達が葵祭でいきいきと活躍されている姿に自分の学生時代を思い出しく見えておりました。来年も出品させていただけるよう健康である限り、今しか出来ない事を大いに経験し、チャンスを逃す事なく、頑張りたいと思っております。



木目込み人形



作品勢ぞろい



連続鶴の折り方講習

### ホームカミングデー

副会長 平野幸代 (1期)

2011年11月11日・12日、葵祭にてバザーがあり、その部屋の一隅でテーブルを囲み井村美代子さん (N1期) のお手前でお茶をいただきました。お饅頭やお菓子もいろいろありました。おしゃべりしながら自分の好きなものをいただき、自分の熱中している事や特技や趣味についての話題で盛り上りました。お昼には学生が作ったうどんをいただきました。手作りのおにぎりやお寿司の差し入れもあり、作り方が話題になりました。

帰りには参加者にタオルを渡しました。

今後も葵祭の日には「ホームカミングデー」が企画されますので皆様いろいろな話題を持ちましょう。

人間は話し合うことで活気付けられ、楽しい人生を送る事が出来ます。

では次回2012年11月9日・10日もお会い出来る事を楽しみにお待ちしております。



楽しいホームカミングデー

### 卒業式に参加して

2012年3月15日

会計 石垣美恵子 (15期)



入会を歓迎して記念品を贈呈

名古屋文化短期大学の卒業式が、ウェスティンナゴヤキャッスルで行われました。卒業生の皆様、おめでとうございます。保護者の皆様、心からお祝い申し上げます。同窓会からは、入会を歓迎して、紅白饅頭と同窓会新入会員名簿を渡しました。会員の交流に活用していただきたいと思っております。

私が卒業したのは、46年前で黒の紋付の着物に袴でした。今では保護者だけでなく、家族の方も式に同席され、卒業生は艶やかな着物に身を包み、晴れやかな表情で式典に臨んでいました。卒業される皆さんはもとより、誰よりも喜びを感じておられるのは、ご両親だと思います。卒業証書を両親に見せ、感謝の言葉を伝えていただけたものと思います。その後祝賀会が開かれました。この先いろいろなことがあると思いますが、学校で学んだ事を忘れず頑張ってください。先輩として、エールを送ります。

新入会員の同窓会活動への参加をお待ちしています。

悠久の音色

齊藤浩さんが、弦をバチで叩いて演奏するハンガリーの民族楽器・ツインバロンとアイルランドの楽器・ハンマーダルシマーの澄み渡った音色は、まるで目の前の空間に溶け出す子守唄のよう！ツインバロンの音色は、どこかピアノに似ていて、繊細な音からダイナミックな技巧的なものまで表現され、日本の曲も、カンツォネッタも、グレゴリオ聖歌もすべてが「パーフェクト」悠久の音色に酔いしました。その後の日本料理店・志摩での食事はボリュームたっぷり！先輩方とのお話にも、花が咲き、おいしいお料理にも大満足して、私は家路に着きました。



演奏者とともに

研修会に参加して①アルミ缶アート

2011年10月29日

阿部朝子（18期）

トントントントんひたすらアルミを打ち出す

“アルミ缶アート”に今回初めて出会いました。参加した日がクリスマスに近かったため、参考絵柄はクリスマスを意識した物が多く有りました。各自絵を選択して色をぬり、打ち出しと作業を進め、完成したものを額に入れると立派な作品になりました。同窓会の研修に参加して、自分の知らない事との出会いが有り楽しくなりました。仕事、家庭とは異なる触れ合いもgood！です。講師の先生も気さくな方で構える事なく教えていただけました。新しい事を知り、行動する研修会の楽しい企画に期待しています。



見事に完成しました

研修会を終えて②文化のみち 榿木館見学・食事会

2012年2月18日

研修委員長 中村明実（26期）

2012年2月18日、文化のみち榿木館の見学会を行いました。この時期には珍しい暖かい日差しに恵まれた中、ボランティアガイドさんのユーモアあふれる解説を伺いながら、懐かしい昭和の雰囲気のある建物や庭園をゆっくりと見学しました。

見学の終了後には全員で日本料理太閤本店にて会食を行い、楽しいひと時を過ごすことができました。



榿木館にて（左：和館、右：洋館）

名簿の会②からお知らせ

参与 小川豊子（2期）、牛田彰子（9期）、小笠原絢子（13期）

同窓会では毎年7月に「同窓会会報」を会員の皆様方に発送しています。下記の方々は住所不明のため、前回の会報をお届けできませんでした。ひとりでも多くの会員に会報を通して現状をお届けしたいと思っています。住所をご存知の方は、卒年次・旧姓・氏名・郵便番号・住所を同封のがきでご連絡ください。

また、住所の表示変更や転居の方は、速やかに新住所を同窓会の「名簿の会②」までお知らせください。会員の消息を知りたい場合など、名簿を必要とするときは、「個人情報保護の会」までご連絡ください。申し込みの場合は書面にて申し込み者の卒年次・氏名・郵便番号・使用目的を明記してください。申し込みを受けた場合は、「個人情報保護の会」で検討し連絡させていただきます。

宛先不明者ご氏名

2011年7月～2012年5月

Table with 4 columns of names and addresses, including entries like 27A 川口 亀久子, 58D 青山 珠美, 89F 滝口 尚美, 92I 王 宏艶, 96I 長島 綾子, 01S 澤井 志保, etc.

訃報 謹んで哀悼の意を表します

2011年～2012年5月末までにご連絡いただいた方々です

- 会員 38A 秋山勝子（江崎） 97K 堀尾裕子 29V 荒谷恵美子 44B 加納ふみ子（伴野） 2V-40V 近藤三枝子（村上）

## 2012 同窓会行事ご案内

申し込み方法：下記行事への参加希望の方は、同封のはがきに50円切手を貼りお申し込みください。  
 申し込み〆切り：2012年9月25日（火）必着 皆様おさそい合わせの上、ぜひご参加ください。

### 総 会

総会委員会・役員会

**日 時** 2012年10月27日（土）  
**会 場** 母校 A館3階アセンブリホール  
**日 程** 受 付 10:00～10:20  
 総 会 10:20～11:00  
 記念講演 11:10～12:30  
 講演 整膚（健康・美肌・癒し）  
 講師 整膚学園学長 徐 堅氏  
 懇 親 会 12:40～15:00  
 （C館2階 サンタクルス）  
 ※お楽しみ抽選会、空くじなし  
**会 費** 5,000円  
**申し込み方法** 同封返信はがきと振込み用紙で9月25日（火）  
 までにお申し込みください。  
 口座番号：00890-0-35678  
 加入者名：名古屋文化短期大学同窓会  
 10月10日（水）以降の返金はいたしかねます。

### 研 修 会

研修委員長 中村明実（26期）

#### ①牛乳パックを利用して

**日 時** 2012年10月20日（土）10時～  
**会 場** 母校 C館402  
**材料費** 500円  
**内 容** 牛乳パックで作るやさしい布箱など  
 ※牛乳パックがある方は、お持ちください。

#### ②季節の花の見学会

**日 時** 2013年5月予定  
**見学地** 後日  
 ※参加を希望される方は、同封のはがきでお  
 申し込みください。  
 ※後日詳細をご連絡します。

### 親 睦 会

葵祭・親睦委員長 浅井ヒサエ（22期）

#### 名曲コンサート・ランチタイム

**日 時** 2012年11月予定  
**場 所** 宗次ホール（コンサート）  
 梅の花（食事会）  
**費 用** 3,000円程度  
 ※参加を希望される方は同封のはがきでお申  
 し込みください。  
 ※後日詳細をご連絡します。



### ナゴヤファッション&ビューティーコレクション

ナゴヤファッション&ビューティーコレクション

# Next stage Part II

**日 時** 2012年8月25日（土）  
 [開場] 12:30 [開演] 13:00 [終演] 16:30（予定）

**会 場** 名古屋国際会議場イベントホール  
 名古屋市長田区熱田西1番1号  
 地下鉄名城線「西高蔵」駅または名港線「日比野」駅下車徒歩5分

The27th Joint fashion show Hair show  
 スペシャルエフェクトウエディング Dance show  
 高校生モデル公開オーディション Kids Cheer dance show

**主 催** 学校法人 山田学園  
 名古屋文化短期大学・名古屋服飾専門学校  
**後 援** 名古屋文化短期大学同窓会



ナゴヤファッション&ビューティーコレクションの観覧（入場無料）をご希望の方は、名古屋文化短期大学A館1Fインフォメーションまたは電話052-931-7112庶務課までお申し出ください。※入場券は、当日会場受付渡しです。

### 葵 祭

葵祭・親睦委員長 浅井ヒサエ（22期）

**日 時** 2012年11月 9日（金）10:00～16:00  
 2012年11月10日（土）10:00～15:30

#### 作品展

**会 場** 母校 C館402  
**搬入日時** 11月8日（木）13:00～15:00  
**搬入場所** 母校 B館6階 同窓会室  
 ※当日搬入は、10:00までに会場へ  
**搬 出** 11月10日（土）15:30～

#### バザー

**会 場** 母校 C館402  
**内 容** 陶器、衣料品、雑貨、バックなど多品目の出品物の販売  
**搬入日時** 11月8日（木）13:00～15:00  
**搬入場所** 母校 B館6階 同窓会室  
 ※当日搬入は、10:00までに会場へ

#### ホームカミングデー

**会 場** 母校 C館402  
**会 費** 無料  
**その他** 記念品、呈茶  
 ※同窓会員に限る。